

新潟国際情報大学 現代GPRP シンポジウム



国際理解教育におけるワークショップの導入
国際交流インストラクター事業の成果と課題

平成21年11月14日(土) 13:00～16:00

会場：クロスパルにいがた 映像ホール(4階)

受付開始：12:30

入場料：無料(事前申込不要)

主催：新潟国際情報大学

共催：新潟県国際理解教育推進協議会(構成団体：新潟県知事政策局国際課、新潟県教育庁義務教育課・高等学校教育課、新潟市教育委員会学校支援課、(独)国際協力機構広尾センター、新潟大学、上越教育大学、新潟国際情報大学、NPO法人にいがたNGOネットワーク、(財)エイ・エフ・エス日本協会、青年海外協力隊新潟県OB会、(財)新潟市国際交流協会、長岡市国際交流センター、(社)上越国際交流協会、(財)新潟県国際交流協会)

新潟国際情報大学 現代GP シンポジウム

プログラム

1 開会のあいさつ

新潟国際情報大学 情報文化学部長 槻木公一

2 「新潟に求められる国際理解とは何か」

長岡市国際交流センター長 羽賀友信氏

3 国際理解教育プログラムの紹介

国際交流インストラクターの学生

4 講評

上越教育大学教授 釜田聡氏

休憩

5 パネルディスカッション

国際交流インストラクターによる国際理解教育の成果

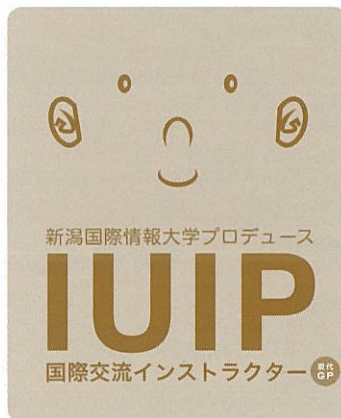
パネリスト:学校教育関係者、国際交流団体関係者

6 「今後の国際交流インストラクター事業について」

新潟県国際交流協会事務局長 土田純一氏

7 閉会のあいさつ

新潟国際情報大学長 平山征夫



新潟国際情報大学では、地域社会の国際化・活性化の推進を目標とし、所定の研修を経て認証された大学生を、「国際交流インストラクター」として県内の小中学校・高校に派遣し、ワークショップ形式による国際理解教育を行っています。この「国際交流インストラクター事業」は、国際交流団体や教育機関との密接な連携によって平成17年度より実施されましたが、平成19年度にはその実績が認められ、文部科学省の大学改革推進等補助金の1つ「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択されました。また、県内教育機関からもご高評を頂いており、国際交流インストラクターは、これまで県内の60以上の小中学校・高校に派遣され、受講した生徒は4,000人を超えます(平成18年度から20年度までの累計)。本シンポジウムは、国際交流インストラクター事業のこれまでの成果を広く公開するとともに、参加者の皆様から忌憚のないご意見・ご批判を頂くことを目的として、文部科学省の補助事業の一環として開催されます。事前の参加お申込は不要ですので、ふるってご参加下さい。



会場へのアクセス

[クロスバリアにいがた]

新潟市中央区礎町通3/町2086 〒951-8055

[交通案内]

JR/新潟駅万代口より 徒歩20分程度

バス/古町方面行き 礎町又は本町下車 徒歩3~5分

信濃川ウオーターシャトル/万代橋西詰乗船場より 徒歩3分

[駐車場]

30台あり

最初の30分無料 以後30分毎に150円

お問い合わせ先



新潟国際情報大学
Niigata University of International and Information Studies

新潟国際情報大学 現代GP事務室

〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1

TEL.025-264-3012 FAX.025-264-3016

iuip@nuis.ac.jp

<http://www.nuis.ac.jp/iuip/>